



# 田植同時施肥

## 有機ペースト肥料をオススメする理由



### まずは何より

① **お米の味 = 食味 (値)** が他の栽培方法に比べて有機を用いたペースト肥料は全てにおいて良い結果になることが多いです。

※ライスセンターの乾燥・粃摺委託や請負業者への業務委託の場合は、品質・食味より作業や段取りが優先されているのが現状(元肥一発粒状肥料体系)



② **安定した収穫量が期待出来る**

施肥された分の有機ペースト肥料は根の近くで着実に吸収されやすくなるため



③ **初心者にも優しい栽培方法**である(誰が行っても安定した成果が得られます)

田植えと同時に土中に直接有機ペーストを**正確に注入施肥**でき、その**40~45日くらいで土中から無くなる(吸収される)**ため、ダラダラと肥効が続かないのが特長で**穂肥(追肥)のタイミング**が非常に分かりやすい。(※元肥一発肥料に代表される化成肥料は、ダラダラと肥効が続くため、穂肥の見極めのタイミングが難しい)

④ 稲が**倒伏しにくい**

土中に直接注入されるので、根が土中の有機ペースト肥料に向かって下へ下へと広く伸びるように根を張るため、**倒れにくい丈夫な稲に成長する**。※土中に注入された肥料成分のチッ素はダラダラと残ることがなく、ムダに徒長せず倒伏しにくい(無効分けつの抑制効果)

⑤ **雨の日でも田植同時施肥が可能** 有機ペースト肥料は雨の影響を受けにくい。

※元肥一発粒状肥料は雨の日の作業では肥料詰まりを始め、様々なトラブルが起こりやすい。



⑥ **殺菌殺虫剤を有機ペーストに混和して田植同時散布ができ省力化につながる**(苗箱粒剤の散布が不要)



⑦ **土壌に優しい**

流出しにくく、環境に優しく地中に残り続けずになくなる(ペースト14号→約45日くらい)尚、現在**一発肥料等に使用されるコーティング肥料**に使われるマイクロプラスチックが土壌に蓄積されたり河川や海へと流出している事が国際問題として取り上げられ、**今後規制がかかる可能性が濃厚(販売制限/使用禁止等)**



⑧ ペースト田植機の方が粒状施肥田植機より**機械本体価格が若干安い**。

⑨ **使用後の洗浄掃除が粒状に比べてやりやすい**。

機械の傷み(錆腐食)も粒状に比べて、はるかに少ない。



残留ペースト  
排出ホース



ワンタッチ  
カプラ



4条植



5・6条植



6・8条植



# 有機ペースト肥料(田植機)のデメリット

- ①通常の有機ペースト田植同時散布栽培では**穂肥(追肥)の手間が発生する**  
 ※そのため土中の上段と下段に有機ペーストを同時に注入できる**元肥有機ペースト二段施肥体系**も現在販売されています。但し**高温年、砂地や砂壤土圃場では追肥が必要な場合**があります。  
 ※また夏場の酷暑の中で穂肥散布を回避する為に、田植え前の耕うん時に追肥をあらかじめ散布しておく  
**コーティング穂肥=ペーストサポート肥料**も販売しております
- ②**肥料価格が元肥一発肥料に比べ約10%程高い**  
 (製造が高度な有機成分を配合したペースト肥料の為、どうしても少し高め)
- ③『食味』『収穫量』『田植え時の雨天』を余り考慮せず  
**『低コスト』『省力化』を第一に優先する場合、一般的な通常の有機ペースト施肥体系はそぐわない**  
 (※但し、二段ペースト施肥や一発ペースト体系で省力化対応可能)



トラクタによる穂肥散布 (ペーストサポート)

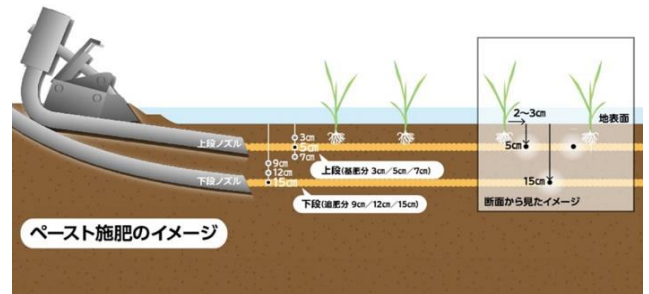


動力散布機による穂肥散布 (ペーストサポート)



## 有機二段ペースト施肥のご紹介

①ペーストの施肥を土中の上段と下段に注入し、通常のペーストよりさらに長めの肥効を得る  
**田植同時二段ペースト施肥というモノもあります**



②上手くはまれば**追肥(穂肥)無しでそこそこの収量や食味が期待**でき、当然一般的な有機ペーストのメリットも同じようにある(すでに全国各地で実証済み、当然奈良県の当社管理圃場でも実証済み)



## 元肥一発ペーストの登場

すでに、**元肥一発ペースト肥料(若葉有機LLペースト488)**が販売開始されております。これは有機ペーストを元肥一発肥料で行う田植え体系であり、こちらも圃場環境や気候(気温)が上手くはまれば元肥一発若葉有機LLペースト肥料を田植同時散布するだけで一発施肥の効果が期待できます。(※但し、高温年や砂地では追肥が必要な場合もあります)

重要なお知らせ

2022年以降、**元肥一発肥料(コーティング肥料)のマイクロプラスチックに規制(禁止)がかかると再度ペースト肥料の需要が高まる**可能性が出てきております。

※新型コロナ騒動、ウクライナ紛争により、世界の肥料価格が高騰したため  
**化学肥料の低減・有機栽培の推奨・堆肥の国産化等、循環型農業への移行に**  
 国や行政が力を入れて補助金事業を行っております。

1級農業機械整備士在駐 / 各種除草剤・農薬・肥料の販売



修理が大好きな農機店  
**(株) 勝井農機**

